

令和3年度 第1回健やかほうふ21計画(第二次)推進委員会会議録要旨

1 日時	令和3年8月5日(木) 午後2時から午後3時30分
2 場所	防府市保健センター
3 出席者	<p><b>【委員】</b>            横田委員、山本(一)委員、深野委員、椎木(康)委員、椎木(幸)委員、松田委員、長尾委員、山本(亨)委員、山本(憲)委員、田中委員、島田委員、清水委員、藤村委員、久門委員、松野委員、池永委員、古谷委員、小林委員、深光委員、荒瀬委員、井田委員</p> <p>※欠席：末廣委員、辻下委員</p> <p>(事務局)            藤井健康福祉部長、秋重健康増進課長、篠原主幹、原田技術補佐、渡邊係長、林、永谷、渡邊、山野、吉村、白石、坂本、赤川</p>
4 傍聴者	0名
5 議題	(1) 健やかほうふ21計画(第二次)について (2) 庁内各課の令和2年度の取組状況について (3) 中間評価から見えた計画推進のポイントについて (4) 意見交換～今後の取組について～ (5) その他

事前配布資料の確認

次第「1 開会」「3 閉会」は記載省略

2 議事

(1) 健やかほうふ21計画(第二次)について

【事務局説明】

健やかほうふ21計画(第二次)について説明

【質疑応答】

なし

(2) 庁内各課の令和2年度の取組状況について

【事務局説明】

庁内各課の令和2年度の取組状況について説明(資料1)

【質疑応答】

なし

### (3) 中間評価から見えた計画推進のポイントについて

#### 【事務局説明】

中間評価から見えた計画推進のポイントについて説明（資料2）

#### 【質疑応答】

なし

### (4) 意見交換 ～今後の取組について～

#### 【議長】

今までの事務局からの説明について、また、今後の各団体の取組についてご意見をお願いしたい。

#### 【A 委員】

子どもの成長・発達とともに、親の不安が増している現状がある。幼稚園では、保護者からの育児に関する相談に担任や主任等が対応している。今後も、必要に応じて保健センターや子育て支援課、民生委員等としっかり連携をして対応していきたい。

幼稚園は認定子ども園化が進み、0～2歳児の入園が可能になった。しかし、子どもさんの発達等の特性によって入園が困難な場合があり、その場合の対応が課題である。

#### 【事務局】

就園に関する相談に対しては、お子さん一人一人の状況によって対応が異なるため、個別に対応する必要がある。障害福祉サービスである児童発達支援の対象になる場合もある。状況に応じて、保健センター、子育て支援課、障害福祉課に連絡していただきたい。市としても連携を取って支援していく。

#### 【議長】

ぜひ連携を図り、丁寧な対応をお願いしたい。

#### 【B 委員】

保健センターの今年度の取組説明の中で、託児付きのがん検診を実施するという話があった。とても良い取組だと思う。

A 委員から話が出た発達に特性があるお子さんの就園の問題に関しては、保育園でも同じ問題に直面することがある。就園を希望する児が入園できるよう、できる限り受け入れの努力をしている。今後も、市とも連携しながら対応していきたい。

#### 【C 委員】

コロナ禍で、訪問活動や子育てサークルが思うようにはできていない。母の孤立化を防ぐために、感染対策を実施したうえで、できる限り実施したいと思っている。また、今後も地域と保健センターの橋渡しができるよう、努めていく。

#### 【D 委員】

事務局からの説明を聞き、改めて健康づくりの基盤は子どもの頃から育む必要があると感じた。今後、小学校、中学校で行うべきこととして、朝食摂取率が小学生、中学生、高校生と年齢が上がるにつれ徐々に低下しているという実態がわかったため、今一度朝ご飯をしっかりと毎日食べることの定着について、取り組みたいと思う。

歯科検診に関しては、学校で子どもの歯科検診の機会に保護者の歯科検診受診についても投げかけをする等、保護者の検診受診も含めた情報発信を検討したい。

喫煙については、親がたばこを吸っていると、子どもは吸うハードルが低くなると思う。今の小中学生達が親世代になった時に吸う人が少なくなるよう、今後も喫煙防止教育に取り組んでいきたい。

#### 【議長】

たばこはまた値上がりする。3年連続値上がりで、喫煙者が禁煙する良いチャンス。この機会を捉えて禁煙につなげたい。

#### 【E 委員】

この協議会に今日初めて参加した。子どもの頃から高齢になるまでの健康づくりを考える仕組みがあることがすばらしいと感じた。

現在の中学生の実態について話すと、最近は部活の時間が以前に比べ短くなり、家でゲームをする時間が長くなっていると聞く。夜遅くまでゲームをし、特に夏休みは朝起きるのが遅くなり、朝ご飯を食べなかったり生活が不規則になったりしやすいようだ。家庭においても、規則正しい生活を送ること等を子どもに話し、気をつけていかねばならないと思う。

#### 【議長】

子どもの頃の習慣は大人になっても続くものが多いので、子どものころから良い習慣をつけることが大切。

#### 【F 委員】

事務局から説明があった令和2年度の取組の中で、子育て世代包括支援センター事業の昨年の相談件数が多いと感じた。子育てをする保護者はコロナ禍で外出しづらく、ストレスが溜まっている人も多いのではないかと思う。それに対し、市が産後ケア事業の日中一時滞在型を新設したというのは非常に良いことだと思う。また、最近、宇部市が宇部妊婦子ども応援団というのを始めたというのを聞いた。企業から寄付金を募ったり、誕生おめでとう箱をプレゼントしたりと色々な活動をしているようだ。防府市でも妊婦、子育て世代を応援出来るような活動ができていくとよい。

喫煙については、今年の4月から法律の改正があり、企業として敷地内禁煙に

した。しかし、お客様から「たばこを吸っても良いか?」「店舗周辺でたばこを吸っても良いのではないか。」との声もあり、対応に苦慮することもある。

#### 【G 委員】

妊産婦サポート事業等において、新鮮な防府とくち管内の野菜を提供している。今後も防府市産の野菜をPRし、安心安全な野菜を市民に広く届けたい。野菜の直売所も活用していただきたい。

#### 【H 委員】

市内小規模事業所ではコロナ禍で事業活動が思うようにできないところがあり、1日何十件も相談を受けている。少しでも解決につながるよう、相談に対応している。現在のような状況が続けば、心の病も増えていく可能性があるので、以前実施していただいた、職域におけるゲートキーパー養成講座について検討していただきたい。

#### 【I 委員】

歯科検診の大切さを今後も周知することは大切。また、検診を受けて終わりではなく、歯科検診から8020につなげていくことも重要である。

学校での歯科検診の後、小学生までは医療費が無料なので、治療に来る人は多い。しかし、中学生・高校生では治療に来ない人もいる。理由を聞くと、部活のため時間を取ることができない、部活を休むと選手から外されると聞いたことがある。治療せず放置すると、困るのは子ども自身である。保護者だけでなく、学校でも意識改革が必要である。

#### 【議長】

歯と同様、体のケンシン受診後も受けっぱなしは良くない。ケンシン受診後は、必要に応じて医師や看護師、保健師のアドバイスを受けるよう、勧奨する必要がある。

#### 【J 委員】

禁煙に関して禁煙推進薬剤師が相談を受けている。また、小中学校において、学校薬剤師が「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」で、警察と連携し、薬物乱用のみならずたばこの害について周知している。今後も継続していきたい。

#### 【K 委員】

住民主体の介護予防教室を地域で行っている。教室では、リハビリ専門職と一緒にやまぐち元気アップ体操を行っている。開始当初、参加者は認知症の人が多く、隣人に頼んで声掛けをして参加してもらっていた。しかし、3か月から半年程度経つと、最初は声をかけないと日にちを忘れていた人が、物忘れが軽減したのか、自分で日時を把握して参加できるようになっていった。素晴らしい効果だと思う。教室で体を動かし、みなさんと話をすることでこのような効果が出たのではないか。この介護予防教室を、色々な場所で広めていきたい。

**【議長】**

人同士が繋がることが大切なのだろう。

**【L 委員】**

事務局の説明では、今後の計画推進のポイントがわかりやすく書いてあり、実践できそうだと感じた。高校2年生の息子が夏休みの課題で、昼食の献立を考え、自分でつくるという課題が出ている。この機会に、家族で一緒にバランスのとれた食事を考えたいと思う。そのために早速地元の野菜を買いに行こうと思う。

**【議長】**

自分は自殺者の死体検案を行うことがある。何故自殺に追い込まれるまで誰も気が付かなかったのだろう、何で誰かに相談しなかったのだろうと思う。健康は肉体的、精神的、かつ社会的に健康であって成り立つもの。市民がこの3つの健康を実現できるよう、これからも皆さんと計画を推進していきたい。

**【M 委員】**

今日は委員の皆様から色々な意見をいただくことができた。市は意見を吸い上げ、保健事業等に反映させてほしい。また、今後はこの推進委員会が委員相互の情報共有・情報交換や委員同士の繋がりが持てる場になると良いと思う。

各委員の皆さんは、それぞれの組織や団体に帰り、今日の話は是非伝えていただきたい。

以上により議事終了

**【事務局】**

今後も、今日お示しした健康づくりの課題や今後の推進ポイント等について、各委員の団体に話題提供や取組を行ったり、地域で周囲に伝えたりして欲しい。防府市のみならず、皆で取り組むことで、防府市が「みんなつながり思いやる健やかなまち」になると思う。